

第 14 号

2015 年 9 月 18 日
(平成 27 年 9 月 18 日)

ソムリエの風

特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会会報紙

発行 特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会
広報グループ
〒630-8333 奈良市中新屋町
23 番地 中江ビル 302 号室
あすなろ行政書士事務所内

持てる知識・経験を活かし、まちづくりに貢献を！

「奈良検定 10 周年」を迎え

今年度は、奈良検定が始まって 10 周年の記念すべき年度です。これにちなみ、検定の主催者である奈良商工会議所では、さまざまな関連事業を企画されています。

当会も前身の「友の会」ができてから 4 年が経過し、外部から多くの依頼（講演、ガイドなど）が寄せられています。

本年 5 月の総会で、小北理事長は「ソムリエの持てる知識・経験を活かし、まちづくりに貢献してください」と挨拶されました。

以下、地域振興に向けた当会の取り組みを日付順に紹介いたします。

川上村の「村おこし」をお手伝い



川上村・ホテル杉の湯で講演 (7/1)

県南部は歴史遺産だけでなく自然遺産にも恵まれ、宿泊観光地として注目度が高まっています。

当会は本年 4 月、川上村（吉野郡）から依頼を受け、村おこしに関する助言を行い、また村の職員などを対象とした講演会に講師を派遣しています（担当＝鉄田）。

11 月以降は奈良検定 2 級受験に向けた対策講座も行う予定です。

蓮華会・蛙飛びツアーに 100 人



金峯山寺蔵王堂前で (7/7)

7 月 7 日（火）、ガイドグループ主催の標記ツアーが実施されました。朝から吉野山の史跡をご案内いただき、午後 4 時頃からは多くの観覧者に混じって、ユーモラスな蛙飛びを拝観しました。

ケーブルTVにレギュラー出演

本年 7 月から毎月 1 回、当会の理事が KCN（近鉄ケーブルネットワーク）の「Kパラ next」（毎週火曜日正午～）に、ニュースのコメンテーターとして生出演しています。

奇数月が岸克行理事、偶数月が長岡光彦理事です。皆さんもぜひ番組をご覧ください。



中央が長岡理事 (8/11)

奈良交通のバスツアーをガイド



下見の一言主神社で謡曲 (7/9)

当会の提案により「大和歴史紀行」として廃寺、記紀ゆかりの古社、能楽ゆかり地めぐりの 3 コース・計 6 本のツアーが 9 月 13 日からスタートします(12 月まで)。ガイドも当会会員。皆さんもぜひご参加ください(詳細＝同社 HP)。

勉強会、好評開催中



古事記の寸劇も登場 (6/26)

前登志夫(4～6 月)、記紀(7～9 月)、飛鳥(10～12 月)をはじめ、8 月からネイティブによる英語勉強会もスタートしました(毎月第 1 金曜夜に開催予定。4 ページ参照)。奈良県に来られる外国人観光客は増加を続けています。とりわけ当県は欧米豪州人が多いため、簡単な英会話の知識は必須です。これからも多くの会員に参加を呼びかけてまいります。

(専務理事 鉄田 憲男)

会員紹介 奈良、そして吹田 ～吹田市観光講座の講師をしました～



吹田市観光講座

岩波新書の『出雲と大和』(村井康彦著) —古代国家の原像をたずねて—は、古代日本を出雲の神様と天孫系の神様から解きほぐしています。

古事記、日本書紀の神話や伝承に深く興味をそそられて、記紀へどんどん深入りしてゆきました。書物だけではモノたらなくて、奥出雲まで出かけました。帰ってきても、どうもムズムズ落ち着かず、

お伊勢さんも行きました。神殿が大社造りと神明造りで、「なんで柱がこんな構造の配置なの」と胸にモヤモヤが広がりました。

しばらくすると、纏向遺跡で、棟持柱をもつ大型建物と、そうでない大型建物の柱跡が発掘されました。新聞報道では「邪馬台国か?」と報道でしたが、棟持柱の大型建物が伊勢へ、長い足の高床式大型建物が出雲へと考えると、ナントナント、記紀の神殿創建神話に合うではないか!

そんな中、吹田市観光講座の講師の依頼が舞い込んできました。地元吹田市の代表的な八つの神社の神様をピックアップして、記紀神話と照らし合わせてみました。古事記に書かれている神様は

268 柱、日本書紀に書かれている神様は 181 柱、双方に書かれている神様は 122 柱です。したがって差引すると 327 柱の神様が記紀の神様ということになります。

吹田市観光講座では、各神社の個性ある神様を中心に話をすすめました。例えば神功皇后と戦った忍熊王が祀られている神社、弥生時代の高地性集落の地形に祀られている神社は古代史に登場する難波吉師が創健した神社などを紹介しました。

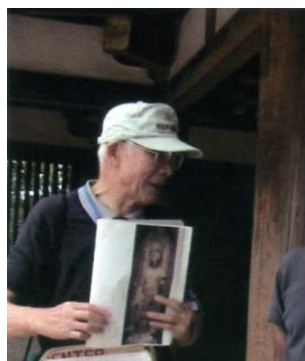
講演後に回収したアンケートでは、「吹田の神様が古事記、日本書紀に関連あることに驚き興味をもった」など好意的でした。

(加藤 宣男^{のりお})

会員紹介 ～奈良検定～

法隆寺のガイドを始めてから約 5 年、平成 19 年奈良検定第 1 回 2 級を受験、結果を見て愕然、余りにも奈良を知らな過ぎました。これではならじと挑戦するも、2 回目失敗、3 回目に通過し、1 級を目指して真剣に取り組むようになりました。

1 級は 2 年掛かりで突破し、6 回目からはソムリエに挑戦。四択は許容範囲、記述 200 字(説明) 2 問はまあまあ、400 字(案内)は法隆寺、してやったりとほくそ笑むも束の間、残り 15 分。慌て、字も乱れました。1400 年の歴史、世界文化遺産のお寺を 15 分で楽しく回れる筈がない、敢えなく轟沈。チャンスを逸しました。



以後、時間の配分が大切な事を痛感。7 回 8 回と厚い壁にはね返された時は、流石に口惜しかったですが、「〇〇防止」の為。まあいいか、行ける所まで行こう。

9 回目は、新聞記者の云う「現場を歩け、見えないものも見えてくる」の教えに習い、セミナーであった案内のコースを下見調査。

そして 3 月 28 日、ヤッター! サクラサク。

しかし、落ち着いてよく考えたら試験の為の勉強であり一夜漬けで根がありません。

振り返れば 9 回までの出題は、2 級、1 級、ソムリエと併せて四択 1900 問、記述説明 (200 字) 35 問、案内 (400 字) 35 コース。これを再検討、時間をかけてじっくり勉強すれば、そこそこの奈良通になると思うのですが、言うは易く行うは難し。

有言不実行にならないよう、せめて半分位はと、自らを戒めている今日この頃で御座います。

(畑 安幸)

ガイドグループ

ガイドグループ活動紹介『ガイドグループのめざすもの』

ガイドグループが実際のガイド活動を開始してまる3年。現状を紹介し、これから何をめざすのかを説明します。

1. ゼロからの出発

「どんなコースを案内するか」、「受付やPRをどうするか」等、何も決まっていなかったゼロからの出発でした。気心の知れないメンバー11名が手さぐりでモデルコースの開発や運営に取り組み、平成24年9月より本格的なガイド活動を始めました。



グループの連絡会

2. どんな活動をしているか

現在グループのメンバーは50名で、次の3種のガイド活動をしています。

①自主ガイド：お客さまの申込みにより、希望の日・希望の場所に少人数でもご案内します。西ノ京・斑鳩など11のモデルコースがあり、お客様の要望に合わせて柔軟にコースを設定します。

②募集ガイド：あらかじめ企画した日程・コースで参加者を募集します。昨年は「當麻寺練供

養の日、中將姫ゆかりの地を巡る」等を実施しました。



桜の甘樫丘をガイド

③受託ガイド：旅行業者等のツアーガイドを受託するもので、エースJTBの「ソムリエと巡る奈良の世界遺産」やNHK文化センターの「大和路を歩く」等があります。

平成26年度は合計で117件・2,151名のお客様をご案内しました。3種のガイドの中では「自主ガイド」を活動のメインと捉えています。「奈良の本当の素晴らしさを味わう」ためには、バスツアーや募集ガイドではなく「少人数でゆっくりと歩くこと」が最適と考えるからです。

3. 活動を支える組織の力

個々のメンバーが協力しあい組織として力を持てば、一人のカリスマ・ガイドを上回る活動ができると考えます。ガイドグループは次のような仕組みで活動しています。

・運営：当グループは市町村のボランティアガイド団体のように観光課・観光協会による運営の支援がなく、メンバーが総務・受付・PR・研修の運営業務を分担しています。運営も含めてガイド活動です。

・エリアチーム制度：奈良県を奈良市・東・西・南・北の5つのエリアに分け、メンバーを各エリアに配属しています。エリアチームをベースに、募集ガイドの企画や新コースの開発を行ないます。

・情報の共有：ガイド用資料や顧客配布資料など活動に必要な資料をウェブ上のフォルダーに登録してメンバーで共有し、グループ全体のガイド力を向上させます。

・研修：ガイドの基本動作研修やOJT制度等によりグループ全体の底上げを図ります。

4. ガイドグループのめざすもの

3年間で一通りのガイド活動ができるようになりましたが、これに留まることなく一段階上の「ソムリエならではのガイド活動」をめざす必要があります。

めざすものは『大仏と鹿しか印象にない全国の人々に「奈良の本当の素晴らしさ」を伝えること』であり、『単なる紹介に終わらず、顧客の興味を深め、心に残るガイドを行なうこと』とです。それによって「全国の大勢の皆さんがソムリエのガイドで奈良を巡る」ことを願っています。

目標実現のためには、グループとしてさらなるガイド技術・ガイド内容の向上が必要であり、所属するメンバーは、プロ意識・責任感を持って積極的に活動に取り組む必要があります。

(安井 永)

女性組織(ソムリエンヌ)



丹生川上神社上社

女子部立上げから約 1 年が過ぎ愛称もソムリエンヌに決まり、毎月定例会と、年 4 回の歴史散策を楽しんでおります。

27 年度も 4 名の方に女子部に入会いただき、28 名益々張り切っているところです。6 月は吉野川上村に 19 名で出かけました。まさに梅雨の晴れ間夏なお涼しい柏木の不洞窟鍾乳洞を進むと目の前を大台

ケ原からの伏流水が水量すさまじく流れ、その様子は神秘的でもあり皆でのを潤しながら至福の時を味わいました。川を渡り、後南朝の祈りの秘話が今も受け継がれる金剛寺にお参りました。

2 月 5 日の御朝拝式は 500 年以上もつづけられ、村人たちの熱い思い、滅び行く者への哀惜の心に胸打たれ、ただただ本堂前の樹齢 800 年とも言われる樺が見ていた時代に思いをはせ、心は 15 世紀に漂いました。

そして水の神様丹生川上神社上社にお参りし、高さ 50m、2 段に流れ落ちる蜻蛉の滝を周り古よりの人々の水に対する思いを深く心に刻み、美しい水の吉野を

満喫し癒されながら帰路に着きました。皆様もぜひ美しい川上村に足をお運びください。

8 月 30 日は東大寺の北にあります五劫院をお訪ねし、『長髪の仏様』を拝観させていただきました。そのあとは暑気払いを兼ねての納涼会をおこないます。そして 10 月 11 日は古墳巡りを楽しみます。今回は 3 回目の明日香散策になります。《私たちの明日香》をと仲間が企画を立ててくれています、ぜひ女性会員の参加を奮ってお願いいたします。楽しい時間をご一緒しませんか！女子部「ソムリエンヌ」にご入会ご希望の方は下記にて受付。(関 美耶子)

携帯 080-6167-2911

メール sekimiyakohahakizuki@outlook.jp

啓発グループ

啓発グループは、愛称「奈良文化発信隊」として、奈良の歴史・文化・観光に関する「調査・研究」とともに、一般向けの啓発活動として「セミナー・講演会」や「奈良まほろばソムリエ検定」の受験者に対する支援活動を行っています。

NPO 発足と同時に誕生したグループで、今年度は前年度に引続き、講演・セミナー等で話ができる「講師の養成」に向けた活動を行うとともに、8 月からは「英会話勉強会」をスタートさせました。

1. 各種勉強会の企画・運営

○「自主勉強会」（毎月 1 回程度開催・3 ヶ月単位）

会員が「アウトプット」するためのさらなる知識の向上のため、3 ヶ月ごとにテーマを設定し、自主的な勉強会を開催しています。

○「英会話勉強会」（毎月 1 回程度開催）



増加する欧米豪からの観光客に対して、英語で道案内やガイドができる能力を身につけるため、本年 8 月からネイティブによる英会話の勉強会を開催しています。

○「奈良のうまいものを極める会」（随時）

「奈良はうまいものばかり」を合い言葉に、大和野菜などの県産野菜、大和肉鶏などの畜産物、奈良の地酒をはじめ郷土食・郷土料理などの調査・研究（試食・試飲？）活動を行っています。

2. 「奈良まほろばソムリエ検定」の受験支援（随時）

奈良商工会議所と連携し、1 級受験の要件である「体験学習プログラム」の実施に協力するとともに、メンバーが講師となって、受験者への認定支援セミナーへの協力などを行っています。このほか、旅行会社など主催の研修会に、講師を派遣しています。

3. 「研究発表会」などの企画・運営

当会会員の研究発表の場として、奈良の歴史・文化に関する「研究発表会」を定期的で開催するとともに、講演スキルの向上に向け「パソコン研修会」「講師養成講座」「研究発表会練習会」などを開催しています。

また会員や一般の受講者向けに、定期的なセミナー・講演会の開催を準備中です。(大山 恵功)

歴史探訪グループ

■史跡探訪サークル

「史跡探訪サークル」では会員の交流を主な目的とし、奈良やその周辺の社寺・史跡を巡る活動を行っています。

最近では田原本の「安養寺・運慶の阿弥陀如来」「明治天皇が行幸時に休憩された浄照寺の書院の見学」、御所の「三光丸クスリ資料館」など、個人では拝観見学が難しい施設・仏像の見学や講話など、普通の観光地では物足りないソムリエの皆様のご要望に応えるコース選定をしています。



浄照寺書院

今後の活動予定は「南山城の秘仏を巡る」（特別公開）、「古代の幹線道路“竹之内街道”を越える」などを計画しています。日時は HP の「お知らせ（会員向け）」でチェックしてください。

また会員の皆様の「こんなところへ行ってみよう」などのリクエストもぜひお寄せください。（小林誠一）

■記紀万葉サークル

記紀万葉サークルは、記紀・万葉集に関わる報告発表会そしてフィールドワーク（FW）を交互に開催しています。活動は今年度で4年目に入りました。

今年度の活動は、4月のFW「馬見古墳群を巡る」に始まりました。1月の報告発表「柿本人麻呂—高市皇子への挽歌」に関連してのFWでした。

5月・6月の報告発表「伊勢神宮の成立」「伊勢斎王について」に続いて、7月には「伊勢斎宮を訪ねて一日帰りバスツアー」を行いました。夏見廃寺跡・垂水斎王頓宮跡も訪ねました。



夏見廃寺金堂跡での説明風景

当サークルでは、発足当初からの皆さんの報告発表資料そして月例会の記録を全て保存し、メンバー限定のサイトにアップしております。（田中 昌弘）

■関東サークル

関東在住のまほろばソムリエの会が、奈良好きな方々と共に活動し

ております。活動の中心は皆で旅先のアイデアを出し合い、関東の国分寺・国分尼寺を中心に奈良時代に関わる遺跡を巡ることです。残念ながら参加できなかったメンバーには、後日メールにて報告、旅の収穫を共有しています。国分寺巡りは武蔵国から始まり、残すところは安房国のみとなりました！



下総国分寺

また新年会・暑気払いなど季節ごとに親睦会を行い、個人で巡った旅の見所や博物館情報などを交換しています。やはり行先・旅のテーマに奈良ファンならではの着眼点が見えます。最近では東京でも奈良の地酒が楽しめるお店が増え、徐々に「新規開拓中」です。旅行の途中にソムリエの会の活動に参加、奈良の方々と交流を持つメンバーもいます。

これからも奈良へ足を運びつつ「関東で奈良を楽しむ」有意義な集いを継続していきたいと思います。

（則久 明子）

広報グループ

広報グループの主な仕事は、「会報紙の編集」、「ホームページの運営と歳時記の記事提供と管理」があります。

○会報紙「ソムリエの風」は、年4回の発行を目指しています。内容も記録保存としての役割、ソムリエの会の基本方針等の情報伝達源

としての役割に加えて、会員紹介やレアスポットの紹介など、更に充実させたいと考えています。

○ホームページ（HP）は、ソムリエの会の広告媒体です。うまく見せるHP管理者である広報が求められます。

○その他に、三つ折りパンフレット

の改訂。JTB など企業を対象にしたソムリエの会の紹介冊子の作成の要望。また、27年3月まで産経新聞連載『奈良再発見』の単行本化の話も具体化しそうです。

広報にご関心のある方、一緒に活動してみませんか。皆さんの参加をお待ちしております。（豊田 敏雄）

講演・講座グループ



公民館講座

今年から始めた“なら記紀・万葉を味わい楽しむシリーズ講演会”を会の事業として「講演・講座G」が企画し、理事会などの応援を頂きながら開催までの諸作業を担当しています。

裏方としては 講師の語る記紀・万葉の知識が繋がり、当日参加者で溢れる会場が夢です。

その為に工夫と手働きを厭わ

ないスタッフが必要です。第1回を明日香で、第2回を奈良市で、9月27日の第3回を桜井で、第4回は12月19日に橿原でと開催地も巡ります。

また一方では、「公民館講座サークル」として、奈良市の西部（毎月第四水曜）、若草（第二金曜）、中部（毎月第二・四土曜）の三公民館で、定期講座を開いています。ソムリエの会会員を講師に、テーマを決めた講座で 受講者に喜んでいただいています。

若草では月毎のテーマで、西部では主に奈良検定2級の問題を参考に、それぞれ“奈良を楽しく学ぶ講座”を行い受講者もどんどん増えつつあります。

中部では奈良検定の各級を目指す方達向けに、少し掘り下げた奈良を学ぶのが目的です。

受講者も徐々に増え、昨年は三公民館で1,000人を超える方が参加して下さいました。年明けの検定試験に向けて、受検される方々も追い込みムードになる時期です。少しでも力になれるよう、頑張りたいと思います。皆さんの周りで検定勉強に興味のある方が居られましたら、是非ご紹介をお願い致します。

公民館の使用は抽選なので、変更になる場合があります。参加者は事前にご確認下さい。

（講演・講座G 小野 哲朗、
公民館講座C 西川 誠）

保存継承グループ

最近の文化財を取巻く環境は、ご承知の通り、非常に厳しい状況です。

特に、我が県南部地方の様な農山村地区は、人口の流出が激しく、数多くの「限界集落」が出現しています。それらの地区は、檀家・氏子の減少で、永年守られてきた文化財や民俗芸能の維持が困難になっています。

一方、温暖化現象で、深層地滑り等で地形の変化だけではなく、植生も変化しつつあります。特に「松枯れ」に似た現象の「ナラ枯れ」は最近顕著となり、世界遺産の春日山も、その脅威に曝されています。

このような時代は、現象を追わず、原点に立ち返り、基礎調査を実施する事とし、昨年は、県下の

市町村指定有形文化財中、建造物を中心に110件調査し、CD化しました。希望者には無料配布を行いました。



7月30日 毎日新聞

今年度は、調査対象を市町村指定の史跡・名勝・天然記念物・有形民俗文化財等とし、118件をリストアップしました。第一回目は大和郡山市を、7月26日に参加

者9名、5カ所の調査を実施しました。幸い当日毎日新聞さんの取材を受け7月30日付けの「奈良版」に大きく取り上げて頂きました。

その後、奈良市の24件を8月に完了、9月は香芝市と9月27日の午前中桜井市を実施する予定です。二回目の今回は前回、班割をし、分担を決めて実施しましたが、中には単独で調査するケースもあり、反省し、今回は、大勢でワイワイ・ガヤガヤいいながら、調査する事になりました。

どうぞ飛び入りでもOKです。一緒に調査しませんか。現地でなければ味わえない新しい発見の連続で楽しいですよ。お待ちしております。

（鈴木 英一）

シリーズ「會津 八一」

◎ 唐招提寺「唐招提寺にて」

おほてらの まろきはしらの
つきかげを つちにふみつつ
ものをこそおもへ

大寺の円い列柱が月光をうけて
印した影を地上に踏みながら、
もののおもひに耽つたことである
(吉野秀雄『鹿鳴集歌解』)。



この歌の舞台は唐招提寺・金堂
だが、着想は直前に訪れた法隆
寺・西院伽藍で得られており、そ

の背景にはギリシャの神殿がある
(「唐招提寺の圓柱」(『渾齋隨
筆』))。

没後の昭和 32 年には管長森本
孝順などのはからいで歌碑の下
に分骨され、《奈良の風光と美術
とを酷愛して、(中略)遂に或は骨
をここに埋めんとさへおもへり》
(『南京新唱』自序)は達成された。

昭和 25 年、會津先生古希祝賀会
による建立(増田徳兵衛が大きく
貢献)。高さ 121 cmの松香石(古墳
から出土)で、金堂の南西に建つ。

◎ 薬師寺「薬師寺東塔」

するえんの あまつをとめが
ころもでの ひまにもすめる
あきのそらかな

水煙の天つ少女の天衣のそのひ

まにさへ、秋の空は澄んでゐる。



歌碑は西塔の北に建つ。東塔の北
に建っていた佐佐木信綱の歌碑「逝
く秋の大和の国の薬師寺の塔の上
なる一ひらの雲」は、東塔が解体修
理中のために八一の歌碑の南に移
設されている。

秋艸会による建立で、平成 11 年
9 月 9 日の除幕式典には私も参列し
た。高さ 100 cmの伊予山・青石で、
刻は大石文彦。(池内 力)

シリーズ「古墳を楽しむ」



道崎 美幸

なぜ古墳が好きなのか? 「造られ
た場所にそのまま残っていて歴史を
想像しやすいのが大きな魅力」と答
えれば簡単です。しかし本当の面白
さを知ってもらうには現地を歩いて
体感することだと思っています。

私が古墳に興味を持ったきっかけ
は、葛城市太田古墳群の現地説明会
でした。当時の私には何が何なのか
さっぱり判らず、何となく消化不良
のような気分が終わってしまったの
が残念で、もっと古墳を知りたい!

という気持ちに駆られました。

そこで古墳関係の本を読んで勉
強してみたのですがなかなか専門
的過ぎて難しい。そんな時にふと
立ち寄ってみたのが桜井市埋蔵文
化財センターでした。

そこには古墳の内部(石室)の
写真がたくさん飾られ、今まで見
たことのない世界に釘付けになっ
た当時のことを今も覚えていま
す。お墓なのになんで美しいので
しょう。芸術作だと思いました。
しかも奈良には石室に入れる素晴
らしい古墳がたくさんあることを
知りました。

個人的にですが、古墳巡りの醍
醐味はやはり石室でしょう。古墳
の墳丘部分は、長い年月が経って
崩れたり改変されていたりするの
で、当時の雰囲気想像するのは

難しいですが、石室は造られた当
初そのまま残っているものもたく
さんあり、地域や時代・身分など
によって個性豊かです。少し視点
を変えてみるだけで古墳の楽しみ
方は大きく広がります。

楽しみ方の一つとして、まず現
地に赴き石室に触れてみることに
から始めます。一つの古墳に興
味を持つとその古墳の歴史や詳
細が知りたくなります。知識が増
えるともっと楽しくなるし新た
な発見もそこから生まれて来ま
す。

奈良には素晴らしい観光名所や
文化財が数多く残されています
が、それと同じく古墳もさまざま
な時代にさまざまな形や姿で残
されています。華やかではありま
せんが隠れた奈良の大きな魅力
ではないでしょうか。

紅葉紹介

■多武峰^{とうのみね}

(JR 又は近鉄桜井駅からバス)



桜井市街の南方に広がる山麓、多武峰の山頂付近に藤原鎌足公を祀る談山神社があります。建物の多くがあでやかな朱色に彩られ、秋は紅葉に覆われて、関西の日光とも称されます。

木造十三重塔の西方から山道を登ると御破裂山に至ります。蘇我入鹿討伐のために、中大兄皇子と中臣（藤原）鎌足が談らった場所と伝えられ、談山の名もこれによると言われています。

■瑜伽神社^{ゆうが}

(奈良市高畑町 近鉄奈良駅よりバスで奈良ホテル前下車 徒歩 2 分)



飛鳥京の鎮守として祀っていた「社」を、平城遷都と共にここに遷したことから「平城の飛鳥」ともいい、現在は、全域が歴史的風土特別保存地区に指定され、美しい景観を見せてくれます。

境内には、元興寺の里を眺めて、大伴坂上郎女が詠んだ平城の飛鳥の万葉歌碑があります。

ふるさとの 飛鳥はあれど
青丹よし 平城の明日香を
見らくしよしも (6-992)

■夜都伎神社^{やとぎ}

(石上神宮から徒歩 45 分)



石上神宮から内山永久寺跡へ、更に 30 分ほど山の辺の道を歩くと、萱葺きの拝殿が美しい夜都伎神社に至ります。この辺りは中世、大乘院・春日社領の乙木庄で当社も春日神社乙木社と称されました。式内社で、萱葺きの拝殿が珍しく、西に下る参道に春日若宮社から移築した鳥居があります。鳥居が集落の方位からはずれているのは「山の辺の道」に面して建てたからだと言われています。

「なら記紀・万葉を味わい楽しむ」第 4 回講演会開催のお知らせ

■日時 平成 27 年 12 月 19 日（日） 納会に合わせて開催

■会場 橿原市 かしはら万葉ホール

■講師 奈良県立橿原考古学研究所学芸課長 橋本裕之氏

■演題 橋本先生は、考古学が専門と伺っていますが、今回は明治期の著名な画家が描いた記紀の絵から、考古学と結びつけた検証をされる予定です。

<編集後記>

今回は拡大号で、各グループの紹介を行いました。グループに所属されていない方も、興味をもったグループがあれば、ぜひ参加してみてください。

編集に当たった広報グループメンバーは以下のとおりです。(あいうえお順)

秋山・上谷・窪田・小林(誠)・雑賀・沢田・竹内・豊田(敏)・永井・中村・橋口・廣岡・二上・松森・吉川・米山



特定非営利活動法人 奈良まほろばソムリエの会

事務所所在地：〒630-8333 奈良市中新屋町 23 番地 中江ビル 302 号室

あすなろ行政書士事務所内

ホームページ：<http://stomo.jp/>

メールアドレス：info@stomo.jp

つれづれ日記（ブログ）：<http://nara-stomo.seesaa.net/>



HP の QR コード